

大会第一日 10月28日(土)

日本音楽学会第57回全国大会プログラム

9:00	受付開始 5号館1階ホワイエ								
9:45-10:00	開会宣言 5号館511								
10:05-10:45	A 5 号 館 5 1 2	大河内文恵 J.A. ハッセのへ長調ミサ曲(M8) の成立過程	B 5 号 館 5 2 4	横田敬 O. メシアンの後期管弦楽書法— 時間と色彩の表現をめぐって	C 5 号 館 5 2 5	中村ゆかり 近代フランス歌曲歌唱様式研究	D 5 号 館 5 2 1	井上登喜子 日本における西洋音楽のレパート リー形成の要因分析：1920年代、 30年代を中心に	
10:50-11:30		小石かつら F. メンデルスゾーンの「演奏会用序 曲」—《静かな海と楽しい航海》Op. 27の改訂とその意義をめぐって		福中冬子 「テキスト」から「声」へ：オペ ラ研究における「パフォーマンス ヴィティ」の可能性とは		尾鼻崇 マックス・スタイナーの映画音楽 にみられる作曲技法		三島わかな 民謡の五線採譜化と音楽創作—近 代沖縄における宮良長包の取り組 みを中心に	
11:35-12:15		藤本一子 R. シューマンの《ピアノ五重奏 曲》第2楽章の初期稿について		長木誠司 ヘンツェのオペラ《午後の曳航》 —オペラ・ドラマトゥルギーのな かの三島作品		杉山紘一郎 60年代における共鳴・フィードバ ックを取り込んだ実験的表現の考 察—David Tudor を中心に—		新堀歎乃 密厳流ご詠歌における伝承形態の 成立過程—昭和初期仏教団の布 教活動にみる「伝統」の再編成	
12:15-13:20	昼食								
13:20-14:00	パネル1 5号館512 演奏分析の地平（音響解析は演奏分 析にどう貢献するか） コーディネーター：矢向正人 パネリスト：ヘルマン・ゴチェフス キー、荒川恵子、長木誠司、渡辺裕		パネル2 5号館524 19世紀音楽文化再考 コーディネーター：芦川紀子 パネリスト：西原稔、井上さつき、 井上登喜子		E 5 号 館 5 2 5		金光真理子 ラウネッダスの舞踊曲の構成原理 —イスカラ概念をめぐって—	F 5 号 館 5 2 1	小泉恭子 日常生活におけるポピュラー音楽 実践の諸相—聴取者が生み出す音 楽カテゴリー—
14:05-14:45							早稲田みな子 ハワイの盆踊り—その日系ディア スポラ文化としての特徴—		
14:50-15:30							太田峰夫 「プリミティブ」な構造とはどの ような構造か—民謡研究者バルト ークの「モチーフ構造」をめぐ る—考察		
15:45-17:30	総会 5号館511								
17:45-18:45	目と耳（映像付きコンピュータ音楽コンサート）（主催：文部科学省科学技術調整費振興分野人材養成・先導的デジタルコンテンツ創成支援ユニット） 多次元デザイン棟ホール								
19:00-21:00	懇親会 タカクラホテル福岡								

大会第二日 10月29日(日)

9:00	受付開始					
9:30 - 10:10			G5号館525	松田聡 1789/90年におけるブルク劇場のオペラ公演とモーツァルト《コシ・ファン・トゥッテ》の成立をめぐって	H5号館521	秋元誠 「晩年の作品は破局である」ーアドルノによる後期ベートーヴェン解釈ー
10:15 - 10:55	パネル3 5号館512 未解説記譜法研究の最前線 コーディネーター：矢向正人 パネリスト：遠藤徹、近藤静乃、高桑いづみ、水野信男	パネル4 5号館524 武満徹と日本の作曲 コーディネーター：中村滋延 パネリスト：佐野光司、長木誠司、小鍛冶邦隆		早坂裕介 19世紀初期のドイツにおけるノクテュルヌとその周辺の音楽		沼口隆 ベートーヴェンの《ミサ・ソレムニス》は異化されたのかー作品受容史への一観点
11:00 - 11:45				森佳子 パリにおける初期オペレッタの変遷ーゲテ座時代のオッフェンバックとそのライヴァルを中心に		伊藤綾 拍節法研究への新たな提言
11:45 - 12:25				鈴木千帆 第一回万国博覧会におけるシュルツェオルガンの展示		稲田隆之 H. ヴォルフの歌曲集《メーリケ詩集》におけるリート創作理念再考 詩の韻律、Deklamationと朗唱的旋律の関係をめぐって
12:25 - 13:25	昼食					
13:25 - 14:05	パネル5 5号館512 音楽理論の新展開 コーディネーター：矢向正人 パネリスト：村尾忠廣、平賀謙、平田圭二	特別講演 5号館524 映像と音 講演者：ルドガー・ブリュンマー（作曲家、ZKM 音楽音響研究所所長） （主催：文部科学省科学技術調整費振興分野人材養成・先導的デジタルコンテンツ創成支援ユニット）	I5号館525	平井真希子 『オルガヌム大全』の両義性	J5号館521	大角欣矢ほか 近代日本における音楽専門教育の成立と展開に関する研究ー中間報告:東京音楽学校附属図書館の明治期までの所蔵状況を中心に
14:10 - 14:50				能登原由美 16世紀イングランドの楽譜集成立における作曲家の役割ー手稿譜から印刷譜への移行に視点をおいてー		橋本久美子 乗杉嘉壽の社会教育論と東京音楽学校（昭和3年～20年）
14:55 - 15:35				園田順子 J. ローゼンミュラー研究ー17世紀ルター派地域におけるヴェネツィア様式の受容について		山上揚平 フランス近代音楽学黎明期における「一般史に寄与するものとしての音楽史」という理念について
15:40 - 16:20				三島郁 エール・ド・クールに対する趣味論争ー17世紀ヨーロッパの音楽ネットワーク内の議論からみえるものー		朝山奈津子 3つの『音楽記念碑 Denkmäler der Tonkunst』にみるドイツ音楽史
16:25 - 16:40	閉会挨拶 5号館511					